

① 小泉家



天保年間(1829~1847・江戸時代)創業。宮島の御神酒は今も造っている。

明治18年、明治天皇が立ち寄られ、お馬車を止められた処に記念碑「置鳳輦止處」ほつれんおきどまるどころを建てた。

庭先には、重さ280Kgの「大門」の金具が保存されている。

② 慈光寺



1447年(室町時代)に禅宗寺院として建立された。1703年(江戸時代)に日蓮宗に改宗。妙見堂に妙見大菩薩を、最上堂に最上位経王大菩薩を祀る。寺なのに境内に神仏習合時代の鳥居がある。(平成20年改築中)

③ 鷺森神社



960年(平安時代)建立。社神は市杵島姫命いちきしまひめののみことと金毘羅神である。御祭神が女神なので、弁天さんと称し、豊漁と海の安全を祈った。1828年(江戸時代)境内で初めて芝居興行がされた。境内に歌舞伎役者が寄進したと思われる手水鉢がある。

④ 幸神社



祭神は猿田彦乃神で、庚申から現在の幸神社こうじんぐになった。

境内に樹齢400年の銀杏の樹があり、幹の中に「いぬびわ」の「宿り木」がある。

⑤ 海蔵寺



1394~1427年(南北朝時代)中国の僧慈眼が建立されたといわれている曹洞宗の寺院。墓地には山中鹿之助の次女盛江の墓・北条氏直の墓がある。本堂の裏には江戸元禄時代に造られた石組いっくみの庭がある。

⑥ 草津八幡宮



625年(飛鳥・推古天皇時代)、多紀理姫乃命たぎりひめののみことを祀ったのが創祀と言われている。12世紀(鎌倉時代)宇佐神宮派生の八幡大神を合祀し現在に至る。大般若経六百卷だいげんぎんにやきょう(市の重要文化財)、けんか神輿が有名。

⑦ 草津城址



726年(奈良時代)甲斐国、竹田五郎高吉草津城を築き「浦山城」と名付く。1554年(室町時代)毛利時代は毛利水軍の将・見玉周防守就方父子三代、草津城主となる。厳島合戦の祭、草津城で毛利軍が軍議を開いたという。城跡のふもとに、見玉就方、就英の墓がある。